



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月24日

上場会社名 株式会社エイトレッド
 コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 佐藤 淳

TEL 03 - 3486 - 6312

四半期報告書提出予定日 2019年10月30日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	783	18.5	267	23.3	268	23.8	191	35.1
2019年3月期第2四半期	661	25.5	216	35.2	217	35.3	141	31.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.71	25.61
2019年3月期第2四半期	20.84	20.62

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	3,218	2,517	78.2	336.88
2019年3月期	3,159	2,362	74.8	317.40

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 2,517百万円 2019年3月期 2,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.50		5.50	11.00
2020年3月期		8.00			
2020年3月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	10.5	560	8.8	560	14.4	375	20.2	50.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,471,800 株	2019年3月期	7,443,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	68 株	2019年3月期	39 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,454,882 株	2019年3月期2Q	6,807,948 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 5
第2四半期累計期間	P. 5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、原油高や米国発の貿易摩擦の強まりによる輸出環境への懸念などから、景気の先行きに不透明感はあるものの、企業収益の改善を背景に、雇用情勢や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いております。

当社が属するIT業界は、クラウドサービス市場の拡大を背景として、クラウドサービスの利用拡大が顕著となっております。当社製品・サービスを展開するワークフローソフトウェア市場につきましても、クラウドサービス及びワークフローソフトウェアの需要拡大を背景に堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーの開催及び、市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能を強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は7億83百万円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益は2億67百万円（同23.3%増）、経常利益は2億68百万円（同23.8%増）、四半期純利益は1億91百万円（同35.1%増）となりました。

なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

（パッケージソフト）

X-p o i n tは、導入社数が堅調に推移したこと等により売上高が伸長し、A g i l e W o r k sは、全国主要都市でのセミナーの実施等により、導入企業数は増加し売上高が伸長いたしました。その結果、当第2四半期累計期間のX-p o i n t売上高は2億13百万円（同5.7%増）、A g i l e W o r k s売上高は3億56百万円（同17.2%増）となり、パッケージソフト全体の売上高は、5億70百万円（同12.6%増）となりました。

（クラウドサービス）

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長を背景として、全国主要都市でのセミナーの実施やハンズオンセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当第2四半期累計期間のクラウドサービス売上高は、2億13百万円（同37.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末の資産合計は32億18百万円となり、前事業年度末に比べ59百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が78百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債合計は7億1百万円となり、前事業年度末に比べ95百万円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が32百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が38百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産合計は25億17百万円となり、前事業年度末に比べ1億54百万円の増加となりました。これは、主に四半期純利益の計上等により利益剰余金が1億50百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して78百万円増加し、25億73百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億99百万円（前年同四半期は2億43百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払が1億28百万円、未払金の減少が28百万円あったものの、税引前四半期純利益が2億88百万円、減価償却費が1億20百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、68百万円（前年同四半期は58百万円の使用）となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が5億16百万円あったものの、無形固定資産の取得による支出が88百万円、投資有価証券の取得による支出が4億96百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、52百万円（前年同四半期は28百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が40百万円あったこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,494,650	2,573,428
売掛金	175,307	208,498
電子記録債権	45,006	16,534
その他	17,984	18,137
流動資産合計	2,732,949	2,816,599
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	90,267	83,735
その他(純額)	6,904	5,856
有形固定資産合計	97,171	89,591
無形固定資産		
ソフトウェア	228,114	201,579
その他	—	1,520
無形固定資産合計	228,114	203,099
投資その他の資産	101,050	109,435
固定資産合計	426,336	402,127
資産合計	3,159,285	3,218,726
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,072	12,559
未払法人税等	146,449	114,437
前受収益	277,920	300,896
賞与引当金	48,454	37,588
その他	152,992	83,737
流動負債合計	636,889	549,219
固定負債		
退職給付引当金	71,610	75,278
役員退職慰労引当金	21,526	10,159
資産除去債務	66,864	66,972
固定負債合計	160,000	152,409
負債合計	796,889	701,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	618,808	620,824
資本剰余金	618,808	620,824
利益剰余金	1,124,832	1,275,558
自己株式	△52	△107
株主資本合計	2,362,395	2,517,098
純資産合計	2,362,395	2,517,098
負債純資産合計	3,159,285	3,218,726

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	661,651	783,903
売上原価	156,774	201,992
売上総利益	504,876	581,911
販売費及び一般管理費	288,112	314,577
営業利益	216,764	267,334
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	1,322
その他	289	60
営業外収益合計	296	1,382
営業外費用		
その他	—	3
営業外費用合計	—	3
経常利益	217,061	268,713
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,428
特別利益合計	—	19,428
税引前四半期純利益	217,061	288,142
法人税、住民税及び事業税	83,824	104,863
法人税等調整額	△8,616	△8,383
法人税等合計	75,208	96,479
四半期純利益	141,853	191,662

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	217,061	288,142
減価償却費	78,985	120,594
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,094	△10,866
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,139	3,667
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,000	△11,367
受取利息及び受取配当金	△6	△1,310
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△19,428
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,461	△4,719
仕入債務の増減額 (△は減少)	373	1,486
前受収益の増減額 (△は減少)	30,932	22,975
未払金の増減額 (△は減少)	△4,079	△28,719
その他	△4,548	△33,629
小計	302,491	326,826
利息及び配当金の受取額	6	1,308
法人税等の支払額	△58,549	△128,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,949	199,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△58,670	△88,000
投資有価証券の取得による支出	—	△496,973
投資有価証券の売却による収入	—	516,402
その他	—	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,670	△68,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△52	△55
ストックオプションの行使による収入	6,132	4,032
上場関連費用の支出	—	△15,583
配当金の支払額	△35,033	△40,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,953	△52,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	156,324	78,778
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,270	2,494,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,595	2,573,428

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。